

■ 第2回企業×交流会

日時	令和6年1月20日(土) 13:00～16:00
会場	あべのハルカス 25階会議室
テーマ	衣
担当	総合司会：永濱侑佳（関西大学、受講生） テーマファシリテーター：古賀彩乃（関西大学、受講生） グループファシリテーター：藤井優希（和歌山大学、4期）、中村美月（武庫川女子大学、6期）、荒木友奈（武庫川女子大学、6期）、藤井千聖（和歌山大学、6期）
交流会趣旨説明	荒木友奈（6期生、武庫川女子大学）
リーダー会活動紹介	③ 大阪府消費者フェア「巨大ジェンガ〜そのときあなたはどうか？」について：中村美月（6期生、武庫川女子大学） ④ 「学校教育で使うワークブック『毎日の行動を見直そう！』」中高校生用作成について：藤井千聖（和歌山大学、6期）
消費者を大事にする企業活動紹介	お客様の問題解決を環境活動に～「ワコール・ブラリサイクル」の取り組み 株式会社ワコール 正垣敏男氏
ワークショップ「人や社会や地球にやさしい消費行動を考える」	○企業のリサイクルの取り組みをどう消費者に知ってもらうか （導入）企業の 下着のリサイクルの 取り組みを 知っていたか？知っている人はどこで知ったか？知らない人はなぜ知らなかったのか？ （メインテーマ）企業のリサイクルの取り組みを知ってもらうために企業ができたこととわたしたち消費者が出来ることは何か？
ちらし次第	 
Web 対応	岡崎先生の Zoom での参加のみ対応。

<参加者数>

種類	参加者数	備考
学生	17 人	大阪府講座受講生 2 和歌山大学講座受講生 15
リーダー会	4 人	4 期生 1、6 期生 3
企業	10 人	株式会社ワコール、伊藤ハム米久ホールディングス株式会社、サラヤ株式会社 2、三木商工株式会社、イカリ消毒株式会社、株式会社トリドールホールディングス NACS：繊維製品研究会 1、西日本支部長事業委員会委員長 日本ヒープ協議会：第一生命保険株式会社
大学	3 人	和歌山大学 1(オンライン)、近畿大学、大学コンソーシアム大阪
その他	4 人	大阪府消費生活センター3、事務局 1
合計	43 人	グループ分け 7 班

<第2回交流会の様子>

① 事前準備

1 時間前

- ・会場セッティング
- ・担当者事前ミーティング開始
- ・グループファシリテーターの役割を確認
- ・各自役割の確認

① 開会式

司会 永濱侑佳

まず初めに、司会者から 10 分遅れての開始となったことのお詫びがあり、開会を宣言した。



② 交流会の趣旨説明

発表者：荒木友奈

主催者であるリーダー会を代表して、交流会の趣旨説明を行った。



③ リーダー会の活動紹介

a. 大阪府消費者フェア「巨大ジェンガ〜そのときあなたはどようする?」について

発表者：中村美月

10月28日に大阪府庁咲州庁舎1階エントランスホールにて、大阪府消費者フェアが開催され、リーダー会は巨大ジェンガ「そのときあなたは どうする？」を行ったことの紹介があった。当日は多くの一般の人が参加し、巨大ジェンガにも多くの子ども連れの家族の参加があった。引いたジェンガの番号のジレンマ問題に回答し自分がどの消費タイプになるのかを親子で気づいてもらった。子どもたちにはお菓子修了メダルを首からかけてもらったが、子どもたちは大変喜んでいたことが紹介された。



- b. 「学校教育で使うワークブック『毎日の行動を見直そう！』」中高校生用作成について
発表者：藤井千聖

今年度制作している中高生用、情報編のワークブック「毎日の行動を見直そう！」について紹介があった。本ワークブックは昨年度の小学生高学年用に続き、今年は2つ作成すること。3月には大阪府内の全国公私立小中高校に配布することを伝えた。ワークブックは1からすべてリーダー会で作成する面白さがあることも紹介された。

④ 基調講演

基調講演として、株式会社ワコールの正垣敏男様から、ワコールの下着のリサイクルの取組について40分の講演をいただいた。



⑤ ワークショップ

ファシリテーター：古賀彩乃

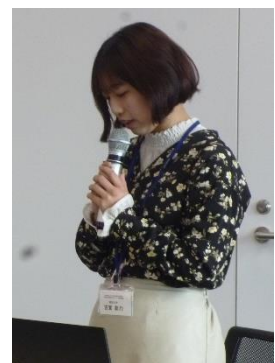
ワークショップのグループ分けについて、企業は各グループに1～2名、学生は和歌山大学以外の学生は別々のグループ、和歌山大学の学生はできるだけ学部学科を分かれて座るよう指示があった。

続いてファシリテーターから、ワークショップのテーマについての説明があった。

テーマは、「企業のリサイクルの取り組みをどう消費者に知ってもらうか？」。企業では様々なリサイクルなどの取組を行っているが、そうした取り組みについて消費者にはあまり伝わっていないこと。消費者が企業のリサイクルの取り組みに参加しようと思っても知らないため参加することができない、といった状況が生まれている。

そこで今回、グループワークのテーマは、導入とメインテーマの2つを設定した。導入の「企業の下着のリサイクルの取り組みを知っていましたか？ → 知っていた方はどこで知ったか？ → 知らなかった方はなぜ知らなかったのか？」について話し合ってもらおう。

その後、メインテーマ「企業のリサイクルの取り組みを知ってもらうために企業がすることとわたしたち消費者が出来ることは何か？」に移り、企業・学生と一緒に企業のリサ



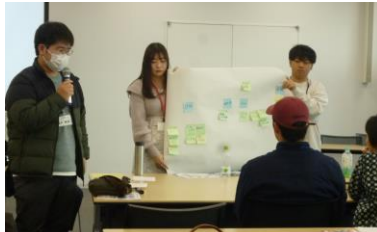
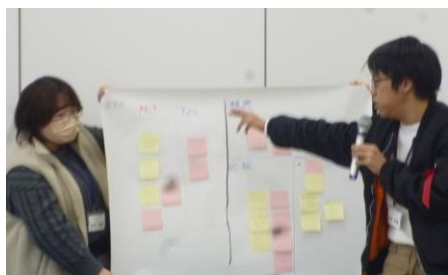
イクルの取り組みを知ってもらう方法について話し合っていたく。



ここからグループワークに入るが、グループワークの注意点を確認した。

この後、全員が5グループに分かれて50分議論した。

最後に全体共有の時間では、5グループが話し合われた内容について、順次発表を行った。



⑥ 消費者教育学生リーダー認定式

今年度リーダー認定された学生に対して、認定式が行われた。認定された学生は前に出て、一人ひとり、認定証と認定カードが授与された。認定された学生からは、参加してみて消費者教育に興味を持ったこと、今後も機会があればぜひ活動に参加したいといった言葉があった。大阪府からは、認定された学生たちに対して、リーダーとして今後も啓発活動に参加することへの期待が述べられた。最後に交流会参加者全員で記念撮影を行った。



⑦ 岡崎先生のご挨拶

最後に岡崎先生からオンラインでご挨拶があった。企業や大阪府に対して協力への感謝が述べられた。学校教育の中で利用してもらうためのワークブック教材を開発したことから、今後の学校教育の中での啓発活動への期待していることを伝えられた。

⑧ 閉会&アンケート

交流会の閉会宣言をした後、参加者に配布されたアンケート用紙に回答して受付に提出して頂くようお願いして終了した。

交流会が終わった後、認定されなかった学生の中で、認定を受けたいと申し出てきた学生や、すでに提出したはずと思っている学生などが出てきた。全員の前での認定式は、認定を受けていない学生にとっては認定されたいと感じた学生があったことは、今後の認定申請を呼びかけるときに、今回の様子を参考にして、できるだけ多くの学生にリーダー申請して認定してもらうよう促したい。